



四万十町

町内「ふら〜り」散策
私が知らなかった私の町

下呉地

しもくれじ

仁 井田川と奥呉地川の合流する辺りからJR六反地駅の辺りまでが下呉地である。

下呉地には東と西の2つの地区があり、50世帯近くの人たちが暮らしている。

東の地区には仁井田米などを栽培

している農家が多く、西では昔から専業農家が少なく、自営業や外へ勤めに出ている人が多い。以前、近くに大きな勤め先が多くあったことや、ここ下呉地の立地条件が、窪川方面へも須崎方面へも交通の便が良いことがその理由である。

昭和のはじめ頃までは、中村街道沿いの要所として栄え、食料品店、散髪屋、履物屋などのさまざまな商店や、旅館、食堂などが立ち並び、行人などが多い。そうにぎわっていたが、鉄道の開通、延伸を経て、にぎわいは窪川の中心部へ移っていった。

また、地区の風景も、道路の建設や田の改良工事などにより、すっかり変わったという。

にぎわっていた頃の面影はほとんど残っていないが、地区の人によると、幼い頃に遊んだ川の岩のかたちや流れの様子だけは昔のままなのだそう。

この地域は昔から交通の便が



宅老所の看板が心に優しい

良かっただけでなく、気候も比較的穏やかで、雪が積もっても一日で溶けるので、何日も家に閉じ込められるような事もなかったという。

その便利さ故か、あるいは人の交流が盛んであったからなのか、地区の生活文化や風土が、「言い伝え」や「伝承」と

いったものだけでなく、どちらかというと、新しいものを取り入れながらの「変化」と「成長」という路線を歩んできたのではないかとわれている。

常に地区外の人やものに触れることによって、柔軟性が養われてきたのか、あるいは、もともと柔軟性を持った人や、鋭い感性を持った人が多かったのか。

さて、今年度中に開通予定の四国横断自動車道のインターチェンジがすぐ近くにできる。下呉地は劇的な交通の変化を迎えることとなる。



仁井田米の田んぼが続く

町のうごき	(7月31日)		人口				出生 死亡 転入 転出				適正值(mg/l)		8月18日	
	男	女	男	女	計	男	女	計	男	女	男	女	計	
	計	9,070	10,196	7	2	9	10	8	18	18	20	≤ 5.0	≤ 0.5	≤ 5.0
世帯数	8,812						(7月中の届出)				アンモニウム	アニオン活性剤	化学的酸素消費量	4.989

7月9日より外国人住民も住民基本台帳に登録されるようになりました。

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)

四万十川の
水質状況

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部